

5 50年のあゆみ

それでは、高松市とセント・ピーターズバーグ市の50年の交流を振り返ってみましょう。



昭和36年11月、セ市長夫人の両親、マニヤン夫妻が、初の親善特使として、来高し、関西汽船の棧橋では、大勢の市民が日米の国旗を振って歓迎をしました。



滞在中、栗林公園や漆芸家の磯井如真さんの工房を訪問しました。

高松市★セント・ピーターズバーグ市 姉妹都市提携50周年の記録

昭和37年（1962年）、高松第一高等学校の蓮井宣昭教諭が、フロリダ・プレスビテリアン大学、現在のエッカード大学に留学しました。記念すべき、第1回の姉妹都市派遣留学生です。以来、学校の教員や、市職員を派遣し、語学研修や市役所での行政研修を行いながら、市民との友好親善を深めました。この事業は、平成13年まで続きました。

高松第一高等学校等教員・市職員の派遣



一方、昭和41年（1966年）フロリダ・プレスビテリアン大学（現エッカード大学）の卒業生が、招へい教師として初めて、高松第一高等学校に赴任しました。以来、招へい教師は英語の授業を担当するほか、市民との交流活動に積極的に参加してきました。現在のエディソン・オーウンスさんは45人目の招へい教師です。

高松第一高等学校英語教師の招へい



高松市★セント・ピーターズバーグ市 姉妹都市提携50周年の記録

昭和59年(1984年)、セ市からの最初の高校生親善研修生、ジョナサン・マーク・ワナーさんが来高し、ホームステイをするとともに、高松第一高等学校の授業やクラブ活動に参加しました。以来、毎年夏に2人の高校生の親善研修生を受け入れ、これまで45人が高松市を訪れ、日本文化に触れるとともに、アメリカの文化を広めるなど両市の友好に大きな成果をあげています。

親善研修生の受入



このプログラムは平成18年にセ市の財政難のために打ち切りという、ピンチに陥ったことがあります。この時、同じ四国の宇和島市出身で、当時、タンパベイ・レイズで活躍していた岩村明憲選手が交流に役立つのであればと、資金提供を申し出てくれ、おかげで、事業は続けられることになりました。

派遣中止のピンチを救った大リーガー



Photos: Courtesy of the city of St. Petersburg

高校生親善研修生の派遣



また、岩村選手から、高松市からも派遣したらどうかとのアドバイスをいただき、平成20年度からは、高松市からも高校生を派遣するようになりました。松平公益会の支援をいただき、4年目となる平成23年度は4人の高校生が、ホームステイをしながら、サマーキャンプに参加し、親善交流を行いました。

両市は遠く離れているにもかかわらず、これまで様々な交流を行ってきました。

昭和42年（1967年）3月、ゴールドナー市長を団長とする親善使節団が高松市を訪問し、姉妹都市活動促進の盟約書に調印を行い、両市が、今後、文化・経済等において、積極的、永続的に交流を進め、両市民の友情の絆を強めるために努力すると固く誓い合いました。



昭和53年（1978年）、脇市長ら親善使節団がセント・ピーターズバーグ市を公式訪問し、フリーマン市長を始め、市民から大歓迎を受けました。



高松市★セント・ピーターズバーグ市 姉妹都市提携50周年の記録

昭和59年（1984年）、今度はフリーマン市長を始めとするセ市代表団が高松市を訪問しました。フリーマン市長は高松市の広報番組に出演するとともに、高松市議会の本会議場においてスピーチを行いました。



Commemoration of a visit to Takamatsu June 25, 1984

平成2年11月、高松市は市制施行100周年を迎え、これを記念し、姉妹・友好都市3市から代表団を迎え、記念行事を開催し、代表団は姉妹・友好都市フェアや記念式典などに参加しました。代表団はこの後、自転車で四国を一周するという話題も提供してくれました。

高松市市制施行100周年記念 姉妹・友好都市フェアの開催



平成2年（1990）11月
中央公園



高松市制100周年セント・ピーターズバーグ市代表団来高記念 1990. 11. 6

平成3年、都市提携30周年を迎え、脇市長を団長とする親善代表団が、セ市を訪問し、デビッド・フィッシャー新市長と今後の両市の交流について協議しました。

姉妹都市提携30周年記念事業



高松市訪米親善代表団の派遣
平成3年(1991)10月



また、平成11年(1999年)には、増田市長を始めとする公式訪問団と市民親善使節団が、セ市を訪問し、友好親善を深めました。



高松市★セント・ピーターズバーグ市 姉妹都市提携50周年の記録

平成13年（2001年）8月，都市提携40周年を記念し，現在のセ市市長であるビル・フォスター市議会議員を団長とするセント・ピーターズバーグ市公式代表団が高松市を訪れ，記念植樹などの記念行事に参加するなど，友好交流を図りました。

また，少年野球チーム「フォッシル・パーク」も来高し，地元チームの「高松ドラゴンズ」と親善試合を行うなど友好交流を行いました。

姉妹都市提携40周年記念事業



セント・ピーターズバーグ市代表団の
来高 平成13年(2001)8月

40周年記念日米親善少年野球試合
フォッシル・パークVS高松ドラゴンズ
平成13年(2001)8月13日
県営野球場



平成15年（2003年）今度は，セ市の市制施行100周年記念行事に，高松市から公式代表団9人と，市民親善使節団20人が出席し，親善交流を深めました。踊りや三味線，盆栽のデモンストレーションは人気を呼びました。



高松市★セント・ピーターズバーグ市 姉妹都市提携50周年の記録

平成20年（2008年）7月、ベーカー市長を団長とする代表団が高松市を訪問し、小学校や環境施設の視察、香川大学、高松大学と交流を行いました。

ベーカー市長の高松訪問



セント・ピーターズバーグ市代表団の来高
平成20年(2008)7月



平成21年（2009年）5月、大西市長がセ市を公式訪問し、「アートリンク・ジャパン2009」や「日本の世界遺産写真展」の開会イベントに参加するとともにエッカード大学やセント・ピーターズバーグ大学を訪問しました。

大西市長のセント・ピーターズバーグ市公式訪問

平成21年(2009)5月



高松市★セント・ピーターズバーグ市 姉妹都市提携50周年の記録

平成2年に設立された財団法人高松市国際交流協会では、これまで多くの青年海外親善使節団や姉妹都市親善研修生、親善留学生等の派遣を行い、市民レベルの国際交流を積極的に推進しています。

高松市国際交流協会の派遣事業

青年訪米親善使節団の派遣



平成4年度(1992)



平成2年度(1990)



民間レベルでの交流も活発で、昭和44年以来、セント・ピーターズバーグ市のエッカード大学の学生や教授はたびたび高松市を訪れており、平成22年には、日本語のアダチ准教授が、市内の教育機関と今後の交流について協議するために来高しました。

エッカード大学
日本語准教授の来高

平成22年7月25日



高松大学



香川大学



高松第一高等学校

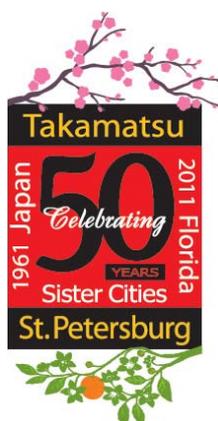
また、双方の都市で赤潮に関するシンポジウムが開催され、研究者が相互に参加したことや、セ市から高齢者対策の関係者が来高し、高齢化対策について意見交換をしたこともありました。



このように両市は、半世紀にわたり、温かく誠実な交流を深め、意義のある真のコミュニケーションを達成できただけでなく、お互いの文化や伝統を学ぶことができました。

これも様々な分野にわたる多くの団体や市民の皆さんが、あるときは友好の架け橋や、民間大使となり、またあるときは、縁の下の力持ちになり、支えてくれたお陰です。

高松市では、次の50年に向けて、市民同士の友好親善が積極的に進められ、素晴らしい関係が続くよう、今後も皆さんと一緒にセ市との交流を推進していきます。



Logo: Courtesy of the City of St. Petersburg.